

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
カウンセリング特論	講義	2	番匠 明美
【授業のテーマ及び到達目標】 テーマ:カウンセリングとピアヘルピングの学びと実践 到達目標:①カウンセリングやピアヘルピングの基本的な態度、理論を理解することができる。②カウンセリングスキルやヘルピングスキルを理解し、身近な人との関係の中で実践することができる。			
【授業の概要】 カウンセリングの理論や技法を学ぶ。また、それらと関連付けながら、ピアヘルピングについての理解を深め、友人関係など日常生活において身近な人との間で実践できる力を身につける。授業の中ではグループセッション等も行い、カウンセリングやピアヘルピングを体験的に習得する。			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション カウンセリングとは			
2. カウンセリングの基本的態度			
3. カウンセリング理論 ①定義と略史			
4. カウンセリング理論 ②関係領域			
5. ピアヘルピングのプロセスとピアヘルパーのパーソナリティ			
6. カウンセリングスキル 言語的技法 ① 理論			
7. カウンセリングスキル 言語的技法 ② 実践			
8. カウンセリングスキル 非言語的技法			
9. カウンセリングにおける諸問題への対処法			
10. ピアヘルパーの心構えとヘルピングスキル			
11. 青年期の課題とピアヘルパーの留意点 ①活動許容範囲			
12. 青年期の課題とピアヘルパーの留意点 ②学業、進路領域			
13. 青年期の課題とピアヘルパーの留意点 ③友人、グループ領域			
14. 青年期の課題とピアヘルパーの留意点 ④関係修復、心理領域			
15. まとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:これまでの自身の対人関係を振り返り、考察する。			
学習のあり方:学んでいる内容を自身や身近な対人関係と関連付けながら、考察する。			
復習のあり方:学んだことを積極的に自身の体験に引きつけて考え、実生活のなかで生かしてみる。			
【成績評価】			
提出物(70%) 受講態度(30%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小レポートに記述された質問に授業内でコメントし受講者の理解を深める。			
【テキスト】			
日本教育カウンセラー協会編 『ピアヘルパー ハンドブック』 図書文化社			
【参考文献】			
日本教育カウンセラー協会編 『ピアヘルパー ワークブック』 図書文化社			